

都市計画道路「大阪岸和田南海線」「泉州山手線」の状況について

1. 大阪岸和田南海線の状況

1) 第1期事業区間〔泉佐野市界～(府)泉佐野打田線：約850m〕

- ・H28年3月 「大阪府都市整備中期計画」の中間見直しにより『事業全面再開』
- ・R1年度：道路詳細設計修正、用地買収、整備工事
- ・R2年度：現況測量・道路詳細設計(青葉台)、整備工事、電線共同溝予備設計
- ・R3年度：用地測量(青葉台)、整備工事、電線共同溝詳細設計
- ・R4年度：電線共同溝整備工事、物件調査
- ・R5年度予定：電線共同溝整備工事、物件調査、用地買収

※R3年3月25日 「大阪府都市整備中期計画(R3～R12)」公表

R12年度までの『概成』の目標が示された。

2) 第2期事業区間〔(府)泉佐野打田線～国道170号(大阪外環状線)：約600m〕

- ・H28年3月 「大阪府都市整備中期計画」の中間見直しにより『事業着手』
- ・R1年度：用地測量(泉佐野打田線～雨山川)、橋梁予備設計・土質調査(雨山川・住吉川)、物件調査、用地買収
- ・R2年度：用地測量(紺屋地区測量範囲拡大)、橋梁詳細設計(雨山川・住吉川)、交差点詳細設計(泉佐野打田線・大阪外環状線)、物件調査、用地買収、電線共同溝予備設計
- ・R3年度：用地測量(泉佐野打田線交差点部・大阪外環状線交差点部)、物件調査、用地買収
- ・R4年度：電線共同溝等詳細設計、用地測量(泉佐野打田線～雨山川・大阪外環状線交差点部)、物件調査、用地買収
- ・R5年度予定：用地測量(住吉川右岸部)、物件調査、用地買収

※R3年3月25日 「大阪府都市整備中期計画(R3～R12)」公表

R12年度までの『概成』の目標が示された。

2. 泉州山手線の状況

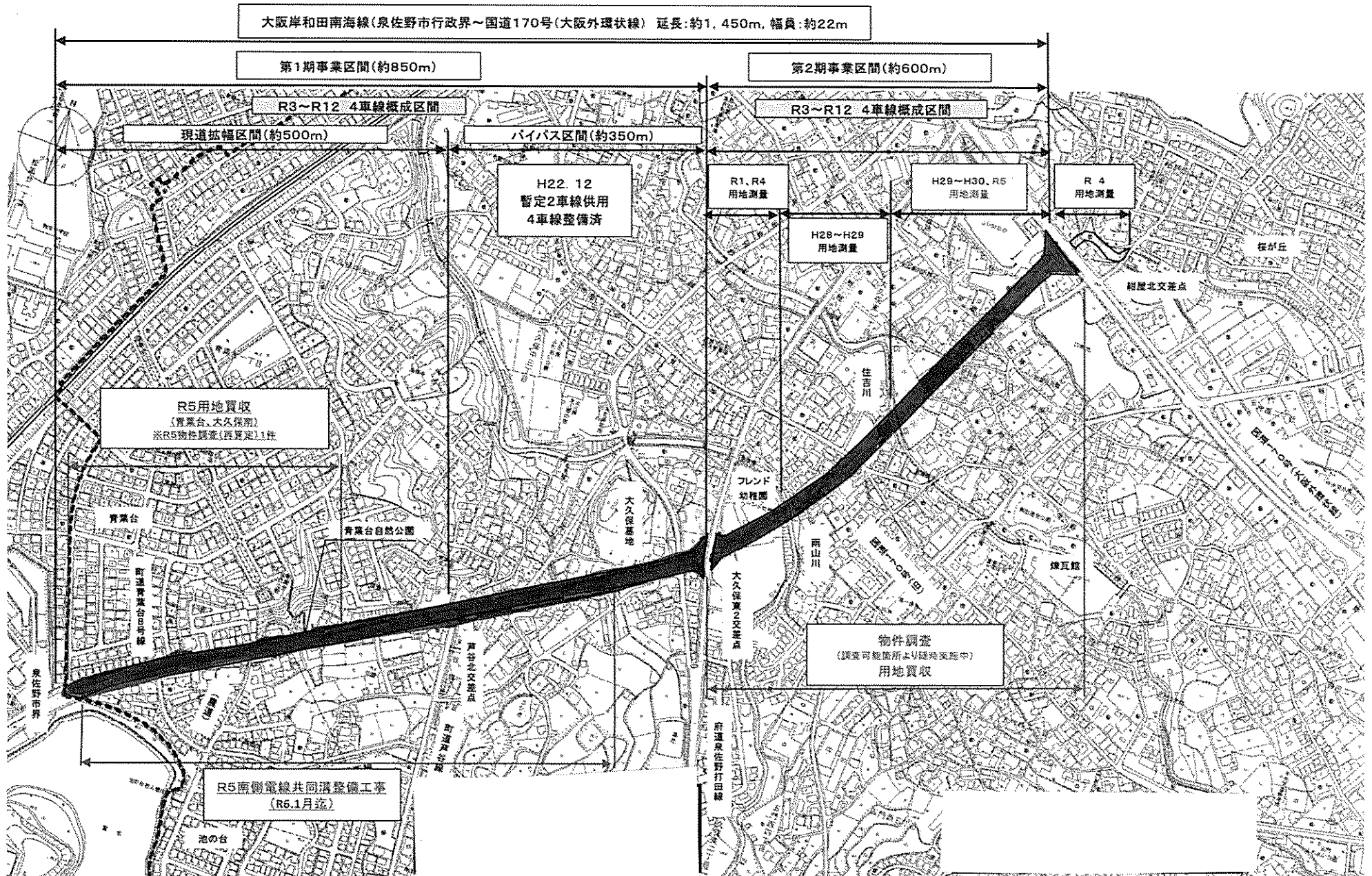
1) これまでの経緯と今後のスケジュール

- ・ H30年11月 事業化候補区間のうちそれぞれ事業着手工区の設定
 - ①(仮)山直・修斉区間：(都)磯之上山直線～(都)岸和田中央線
 - ②(仮)せんごく・熊取区間：
(都)貝塚中央線～府道水間和泉橋本停車場線〔名越工区〕
- ※沿道まちづくりの進捗、早期事業効果発現の見込み、旧道引継ぎの3点の確実性を確認した上で、事業着手に向けた手続きを進める。
- ・ R1年7月 確認書締結(大阪府⇄岸和田市・貝塚市・泉佐野市・熊取町)
 - ※各市町及び大阪府それぞれの役割
 - 各市町は、沿道まちづくり、早期事業効果発現に向けた取組を進めるとともに、泉州山手線の供用開始に合わせて一般国道(旧)170号の移管を受ける。
 - 大阪府は各市町による上記取組みの実施を前提に事業着手に向けた手続きを進める。
- ・ R1～R2年度 〔名越工区〕現況測量委託、高架橋他予備設計
- ・ R2年度～ 〔名越工区〕道路詳細設計、用地測量
- ・ R3年2月 名越工区に係る地元説明会(書面開催)
- ・ R3年度～ 〔名越工区〕物件調査
- ・ R3年11月 名越工区に係る地元説明会(3町会役員)
- ・ R4年度～ 〔名越工区〕用地買収

2) 本町の整備促進支援の状況

- ・ 令和2年度～ 七山北地区の地籍調査着手(貝塚市と合同実施)
 - 【調査面積】約70,000㎡(貝塚市：約75,000㎡、合計：145,000㎡)
 - 【事業計画】※3ヶ年/地区
- ・ R2年度：基準点測量、法務局調査
- ・ R3年度：用地測量、現地境界立会
- ・ R4年度：地籍図・地籍簿作成、地権者閲覧 【業務完了】
- ・ R5年度：大阪府及び国への承認申請実施
 - ※承認後、法務局で新しい地図の備付や登記記録の修正が行われる。

都市計画道路「大阪岸和田南海線」事業進捗状況図



都市計画道路「泉州山手線」事業進捗状況図

